

## 水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年12月16日
タイトル	ふる里の宝「スイゲンゼニタナゴ」を守ろう！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年11月17日（火）「第2回芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」が開催され出席しました。

スイゲンゼニタナゴは、最も絶滅の心配が高いため『種の保存法』で国内希少野生動植物種に指定され、許可のないまま「捕獲・飼育・販売・放流」することは厳しく禁止されている貴重な魚で、岡山県の高梁川流域と広島県では芦田川水系にのみ生息が確認されています。

このため、福山市ではスイゲンゼニタナゴを守るため本年3月に「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会」が発足しました。水土里ネット福山が管理する疏水百選にも選ばれた「芦田川用水」にスイゲンゼニタナゴが生息していることから、水利権者として協議会の一員となっています。

第2回芦田川水系スイゲンゼニタナゴ保全地域協議会は、岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授の中田和義氏を会長に、宮島水族館、「スイゲンゼニタナゴを守る市民の会」事務局長で学校法人 盈進学園 盈進中学高等学校の先生、地元の土木常設員、水土里ネット福山そして広島県・福山市の関係課が会員として出席し環境省中四国地方環境事務所野生生物課からオブザーバーとし参加され、福山市環境部環境保全課が事務局となり、今年度を目途に「芦田川水系スイゲンゼニタナゴ地域連携保全活動計画」を策定するべく課題や活動内容等について協議されました。



生息状況の変遷では、三川ダム付帯事業で施工された七社頭首工用水の工事により、農業用幹線水路がコンクリート構造となり延長も半減したことが、大幅な生息減少の原因であると説明されました。

これに対し中田会長から「2001年の土地改良法改正までは、土地改良事業施行は農業の生産性の向上が目的で環境に配慮するようになったのは改正後からであり当時はやむを得なかった。今では、この農業用水路がスイゲンゼニタナゴの貴重な生息場所になっている。」と話されました。

今後の各地区での実施方策では、水路浚渫をする場合など、関係各課や地元が情報を共有し施行することが重要で、情報を共有しないまま浚渫すると生態が脅かされることや日々の管理方法についても、全体の情報共有が必要であると話し合わせ、水土里ネット福山で水路浚渫する場合でも時期や方法について、事前に協議して慎重に施行する必要があると思いました。

協議の中で「昔から人間と生き物は、農業を通じて共存していた。現在も市街地にも係らずスイゲンゼニタナゴが生息しているのは、農業用水路を地元住民や農家が守っているからだ。」とお聞きし、水土里ネットの「里」は、昔話に出てくるような田舎の農村を想像していましたが、人が住んでいて、そこに農業用水路があ

れば、田畑がなくても地域の心のよりどころになり、それこそが「里」になるのではないかと思います。

後日、水土里ネット福山の幹線水路で環境省による現地調査が行われました。この幹線水路は、地域の方々により約30年前から毎日3回水路の見廻りと清掃をしてこられたそうで、そうした努力もあって市街地にも係らずスイゲンゼニタナゴの生息が確認できる地区となっています。

盈進中学・高校の先生2名と関係者4名により、用水路の下流からかご網などの仕掛けをし、いつもは堰き止めている井堰を取り払い一気に用水を流して魚が仕掛けにかかるのを待ちます。それから水路に入り、網で川底をすくいながら、どんな魚がいるかを調査しました。

下流ではエビが多く魚はあまりいませんでした。堰から上流になると魚が増え、スイゲンゼニタナゴも確認できました。



寒い中、水に入っでの作業は大変ですが、みなさん、魚が大好きな方ばかりで、とても楽しそうに調査しておられました。

多くの魚やエビ、貝を確認しました。スイゲンゼニタナゴが確認できて、疲れが一気に吹き飛んだようでした。



地元で用水路の管理をしておられる水土里ネット組合員の藤井尚人さんは「最近油が流入し生息しているか心配していたので、スイゲンゼニタナゴを確認し、ほっとした」と話しておられ、「今後も毎日欠かさず清掃し、先人が守ってきた農業用水を維持し、次世代に渡したい」と言っておられました。

スイゲンゼニタナゴを守ることから環境学習等を通じて地域の活性化に繋げていくという考えが21世紀土地改良区創造運動にも繋がると思いました。

今後も水土里ネット福山の取り組みや疏水の素晴らしさ、豊かさを発信していきたいと思えます。

スイゲンゼニタナゴは、国の「種の保存法」に指定されていて、許可のないまま「捕獲・飼育・販売・放流」することは厳しく禁止されている貴重な魚です。

「スイゲンゼニタナゴを守る市民の会」により作成された下敷き